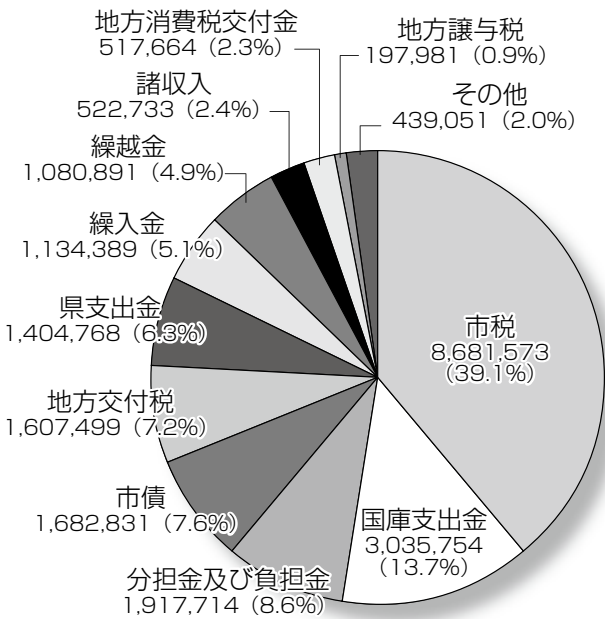


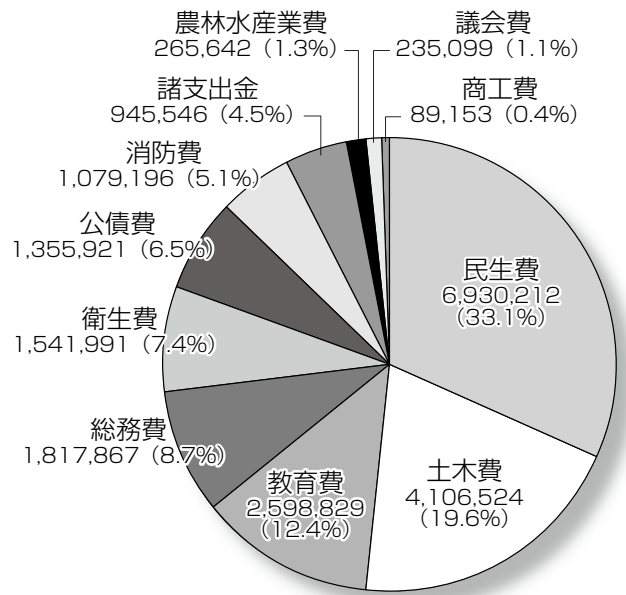
# 平成23年度一般会計歳入歳出決算

平成23年度一般会計決算における歳入は前年度比3.2%増、歳出は2.5%増となりました。特別会計決算、水道事業会計決算についても慎重に審議し、すべての決算を認定しました。

歳入：222億2千284万7千円



歳出：209億6千597万8千円



※単位：千円（ ）は構成比

項目	金額 (円)
【国民健康保険】	
歳入	77億8千150万円
歳出	69億9千866万円
【下水道事業】	
歳入	11億8千285万円
歳出	11億3千282万円
【農業集落排水事業】	
歳入	3千220万円
歳出	3千170万円
【介護保険】	
歳入	25億8千764万円
歳出	25億4千196万円
【後期高齢者医療】	
歳入	3億1千736万円
歳出	3億1千381万円
【水道事業会計】	
収益的収入および支出	
収入	14億5千465万円
支出	13億1千77万円
資本的収入および支出	
収入	16億632万円
支出	20億1千169万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足分は過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

**討論**

一般会計歳入歳出決算に対する反対および賛成の討論を5名が行いました。討論者が要約し、概要をお知らせします。

**反対討論**

日本共産党吉川市議員団 佐藤 清治

平成23年度一般会計決算の実質収支は11億284万8千円の黒字となり、単年度収支も2億2千387万1千円の黒字となっております。使い残しである不用額は6億5千698万7千701円、予算計上しなかったものも2億3千万円です。

認定に反対する第1の理由は当初予算編成にあたって適正に予算計上されていない事。第2の理由は議案質疑の中でも「11億円の繰越額は過大である」と答弁があったように不用額は減額補正し、これらの財源で市民要望に積極的に応えるべきでしたが実施しなかった事。

景気後退の中、平成20年度